

「新たな管理型最終処分場」の整備について

—最終候補地の絞り込みについて—

平成30年12月

高知県林業振興・環境部 環境対策課

1 絞り込みについて

(1) 住民の皆様からいただいたご意見等の状況

- これまでの説明を通じて、住民の皆様からは、管理型最終処分場に搬入される産業廃棄物の内容やその処理方法など、最終処分場そのものに関するご質問から、施設が整備されることによる生活への影響や跡地利用の考え方に至る幅広いご質問やご意見をいただいた

<住民説明会やエコサイクルセンター見学会、アンケートでいただいたご意見、ご質問>

『水漏れへの心配』	「水が漏れ出た場合の対応や備えをどのように考えているのか」、「地震による水漏れが心配」、「施設廃止後も、ずっと水の調査を続けてほしい」 など
『自然災害への不安』	「山を削れば、土砂災害を助長するのではないか」、「大雨の際に下流に大量の水が流れてくるようになるのではないか」、「想定を超える地震に耐えられるのか」 など
『交通安全や騒音、粉じんへの心配』	「交通量が増加することに伴う排気ガスによる影響、交通事故が心配」、「施設への搬入路は一般車両の通行のできるだけ少ない道路にして欲しい」 など
『日常生活や農業への影響に関するもの』	「水漏れ等で農作物に影響が出ることが心配」、「山林を開発することによる鳥獣被害も心配」 など
『施設及び周辺整備に関するもの』	「大雨の際に河川に流れこむ雨水の量を調整する施設（調整池）の規模や放流先をどこにするのか」、「河川改修は検討するのか」、「広い範囲での道路整備が必要」 など
『選定過程に関するもの』	「廃棄物を多く排出している県中央部に設置すべき」、「なぜ、この場所が選定されたのか」 など
『建設予定地の決定方法やスケジュールに関するもの』	「どのような基準で候補地を絞り込むのか」、「今後の絞り込みの流れを教えて欲しい」 など
『その他の意見』	搬入される廃棄物の内容、埋立処分の方法、リサイクルの推進、廃止後の跡地利用の考え方、現地調査の内容に関する質問 など



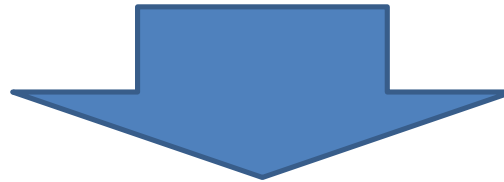
(2) 住民の皆様のご意見等についての県の受け止め

- 県としてその都度丁寧に説明を重ねさせていただいてきた結果、住民の皆様には、最終処分場の必要性そのものについては概ねご理解をいただけたのではないかと考えているところ
- 他方で、「地震の影響による施設からの水漏れ」、「土砂災害や大雨による河川の増水など自然災害に関すること」、「工事用車両等が通行することによる粉じん、騒音、交通安全上の心配」、「農作物への風評被害」など、不安に思われている事についてのご意見、ご質問を多くいただいております、これらの意見はほぼ3地区に共通するもの
- 説明を重ねる中で、住民の皆様のご心配の声やご意見は、「豪雨による土砂崩れや河川の増水といった自然災害への不安」、「大型車両が通行することによる粉じんや騒音、交通安全上の心配などの住民生活への影響」といったことに論点が絞られてきたと考えているところ
- 加えて、「雨水の調整池の規模や放流先をどこにするのか」、「河川改修は検討するのか」、「歩道等の確保が必要」といった周辺環境整備に関する具体的なご質問も多くいただくようになってきているところ
- 住民の皆様のご意見は、3地区いずれにおいても、ご自身の地域には施設を造ってほしくないといったご意見もいただけてきたところであり、3市町間で大きな差があるとは言い難いととらえているところ



(3) 絞り込みの時期の考え方

- こうした住民の皆様の声に対して、明確にお答えしていくためには、関係機関との協議をはじめ、現地の地質調査や測量、施設の設計などを実施しながら、個別の対策について、検討を深めていくことが必要
 - しかし、現地の地質調査や測量、施設の設計などには地権者の承諾や相当の費用が必要となる
 - 3カ所横並びの対応では、これ以上の説明も難しい状況になってきているものと感じているところ
- ⇒ これらを踏まえると、県として住民の皆様の声にしっかりとお答えしていくためには、現時点で候補地を1カ所に絞り込んだ上で、住民の皆様不安の解消に向けて、次のより詳しい検討の段階へ進まさせていただくことが適当ではないかと考えるに至ったところ



(4) 絞り込みの考え方

- 候補地の絞り込みにあたっては、現地調査の結果に基づき、科学的かつ合理的に検証を行うことが重要
- このため、現地で行った地形や地質に関する調査、水に関する調査、候補地周辺に関する調査の結果と、南海トラフ地震による津波の影響に関する評価を合わせた4点の項目について、科学的かつ合理的な視点から検討を行った

2 現地調査結果等の検討について

(1) 現地調査の概要

○調査の目的

- ・ 3カ所の最終候補地は、候補地選定委員会において、主に地形図や航空写真等により評価されたものであるため、地権者の了解をいただいた範囲内において、直接現地に入って調査を行い、施設整備上の新たな課題がないか等を把握する

○調査内容

①地形・地質に関する調査

- ・ 候補地内及びその周辺の地表において確認される地形・地質に関する状況から、施設を整備するうえでの課題を把握する
- ・ 地表の岩の種類など地質の分布を把握するとともに、その結果を踏まえて、水に関する調査の結果から地下水の動きを推測する

②水に関する調査

- ・ 「沢を流れている水の量」及び「沢を流れている水の水質に関する特徴」の調査を行い、その結果を総合して、最終候補地を中心とした流域及び周辺流域において、地下水の流向及び流域を越えた地下水の流れの有無を推測する

③候補地周辺調査

- ・ 候補地周辺の既存道路、建物、農業用ハウス等の状況を確認し、その調査結果を踏まえて、2車線の幹線道路から最終候補地に至るまでの進入道路（既存道路利用、新設）の整備計画及び周辺対策等について検討する

○調査実施期間

平成30年5月中旬から8月中旬まで

○調査結果の公表

8月29日に開催された県議会商工農林水産委員会において報告

◎結果総評

現地調査の結果、3カ所ともに、防災面等において、それぞれ課題はあるものの対応は可能と考えられ、最終処分場の整備に適した土地であることが確認された。一方で、周辺調査による進入道路の整備計画案については、地域住民の生活への影響（沿道の家屋・農作業への影響、補償物件等）や車両通行に伴う安全面、工事費用などの個別の課題が確認された。今後、現地調査結果も踏まえ、総合的に検討していく

- 現地で行った上記3項目の調査結果
- 南海トラフ地震による津波の影響に関する評価を科学的かつ合理的な視点から検討を実施

最終候補地の絞り込みについて(5)

(2) 地形・地質に関する調査

○調査結果の概要

調査項目	須崎市神田	香南市香我美町上分	佐川町加茂
地すべり地形の有無	<ul style="list-style-type: none"> 候補地及びその周辺で確認された数 : 2カ所 候補地の谷の入口あたりに分布が確認できた箇所では、植林の根曲りが認められた その規模は小さなものであった 	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査では、<u>地すべり地形は確認されていない</u> 	<ul style="list-style-type: none"> <u>地すべり地形は確認されていない</u>
土石流の跡の有無	<ul style="list-style-type: none"> 候補地及びその周辺で確認された数 : 3カ所 候補地流域の谷の奥で確認された土石流の跡の周囲の植生は低木や笹等であり、発生してからそれほど多くの年数が経過していないと考えられる その規模は小さなものであった 	<ul style="list-style-type: none"> 候補地及びその周辺で確認された数 : 1カ所 候補地流域の谷の奥で確認された土石流の跡の周囲の植生は、幹の大きさが50cm程度の杉の植林等であり、発生後、数十年経過していると考えられる その規模は小さなものであった 	<ul style="list-style-type: none"> <u>土石流の跡は確認されていない</u>
斜面崩壊の跡の有無	<ul style="list-style-type: none"> 候補地及びその周辺で確認された数 : 3カ所 その規模は小さなものであった 	<ul style="list-style-type: none"> 候補地及びその周辺で確認された数 : 2カ所 その規模は小さなものであった 	<ul style="list-style-type: none"> <u>斜面崩壊の跡は確認されていない</u>
候補地内の地質の状況	<ul style="list-style-type: none"> 一般的によく見られる砂岩と泥岩が交互に重なる地層（地層に占める割合は泥岩の方が多い）である 	<ul style="list-style-type: none"> 一般的によく見られる砂岩と泥岩が交互に重なる地層（地層に占める割合は砂岩の方が多い）である 	<ul style="list-style-type: none"> 候補地と同様の石灰岩の地質帯が広がっている周辺地域では洞穴が2カ所確認されており、<u>候補地の地下に洞穴がない</u>とは言いきれない
構造物を支える地盤があると推定される深さ	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に谷幅が狭いことから、谷底にたまった固まっていない土砂の層は薄いと推測される 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に谷幅が広いことから、谷底にたまった固まっていない土砂の層は厚いと推測される 	<ul style="list-style-type: none"> 石灰岩の採掘跡を埋め戻した平坦地であるが、埋め戻した土砂の厚さは不明である



○調査結果の検討

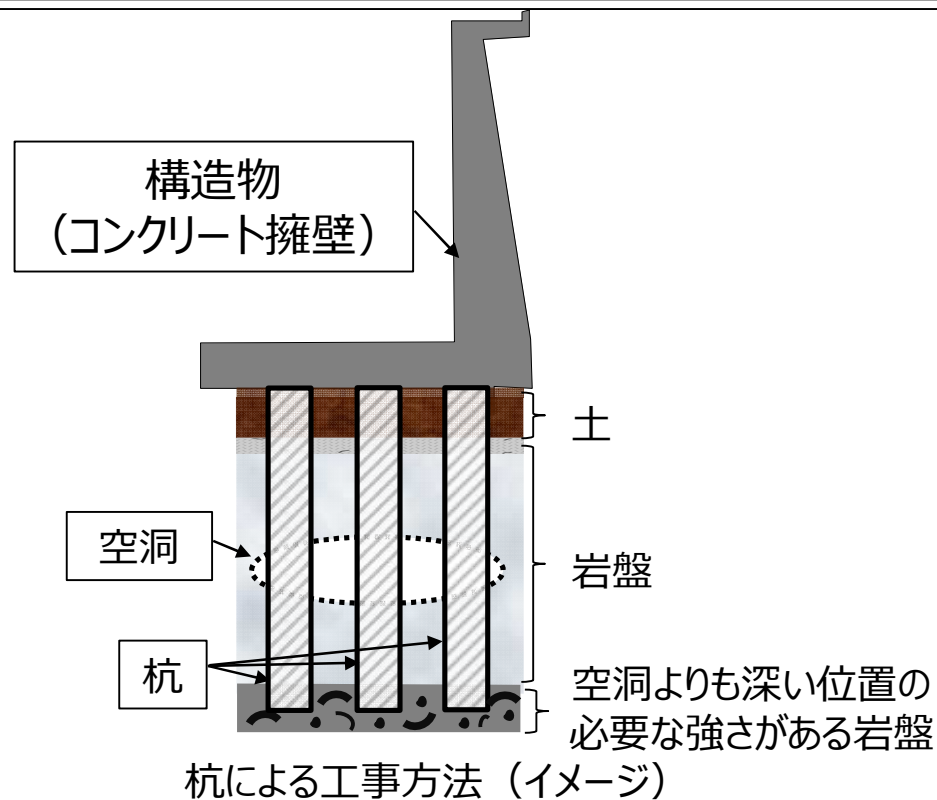
●須崎市神田 ●香南市香我美町上分

- ・「地すべり地形」や「土石流及び斜面崩壊の跡」といった自然災害発生の跡が確認されているが、小規模なものであり、施設の設計を行う際の検討により対応可能である

須崎市神田	:	地すべり地形 2カ所、土石流の跡 3カ所、斜面崩壊の跡 3カ所
香南市香我美町上分	:	地すべり地形 なし、土石流の跡 1カ所、斜面崩壊の跡 2カ所

●佐川町加茂

- ・石灰岩の採掘跡を埋め戻してできた平坦地であり、「地すべり地形」や「土石流及び斜面崩壊の跡」といった自然災害発生の跡は確認されていない
- ・周辺では小規模な洞穴が2カ所確認されており、候補地の地下に空洞がないとは言い切れないが、万が一空洞が確認されても、施設の構造物を支える杭を空洞よりも深い位置の必要な強さがある岩盤まで打ち込むなど構造物を支える力を十分に確保する工事方法により対応は可能である



最終候補地の絞り込みについて(7)

(3) 水に関する調査

※1 比流量：沢水の水量（リットル/秒）をその上流の流域面積（平方キロメートル）で除した値
 ※2 主成分分析：沢水に溶け込んでいる主要な8成分（ナトリウムイオン、塩化物イオン等）の濃度を分析したもの

○調査結果の概要

調査項目	須崎市神田	香南市香我美町上分	佐川町加茂
比流量※1及び水質に関する特徴	<p>・最終候補地を中心とした流域（以下「A流域」という）の比流量は周辺流域と同程度であり、電気伝導度や水素イオン濃度指数、主成分分析※2の結果からも、A流域と周辺流域の水質の特徴に大きな差は確認されなかった</p> <p>⇒A流域から周辺流域に地下水が大きく流れ出ているとは考えられず、A流域の地下水は、当該流域の下流方向に向けて流れているものと推測される</p>	<p>・A流域の比流量は周辺流域と同程度であり、電気伝導度や水素イオン濃度指数、主成分分析の結果からも、A流域と周辺流域の水質の特徴に大きな差は確認されなかった</p> <p>⇒A流域から周辺流域に地下水が大きく流れ出ているとは考えられず、A流域の地下水は、当該流域の下流方向に向けて流れているものと推測される</p>	<p>・A流域の比流量は周辺流域よりも大きく、周辺流域からやや水を集めている傾向にある</p> <p>・A流域で見られる石灰岩に由来する水の特徴が周辺流域で見受けられなかった</p> <p>・A流域の北東に隣接する流域内では、地下水が湧き出ている穴が確認され、比流量や水質の分析結果から、A流域の地下水の一部がこの流域に流れ出ている可能性が考えられる</p> <p>・なお、その水は、約700m下流で対象流域の水が流入する長竹川に合流している</p> <p>⇒A流域から周辺流域に地下水が大きく流れ出ているとは考えられず、A流域の地下水は、当該流域の下流方向に向けて流れているものと推測される</p> <p>ただし、A流域の北東に隣接している流域には地下水が流れ出ている可能性がある</p>
水利用の実態	<p>・A流域内には住家がなく、井戸等の水源の分布は認められない</p> <p>・下流域では、水田耕作地等があり、神田川には取水堰が設置されている</p> <p>⇒建設予定地に決定した場合は、下流域の井戸の有無等の水源に関して実態調査を行い、水質の観測計画を策定する必要がある</p>	<p>・A流域内には住家がなく、井戸等の水源の分布は認められない</p> <p>・下流域では、水田耕作地等があり、山南川には取水堰が設置されている</p> <p>⇒建設予定地に決定した場合は、下流域の井戸の有無等の水源に関して実態調査を行い、水質の観測計画を策定する必要がある</p>	<p>・A流域内の下流には住家が確認された</p> <p>・下流域では、水田耕作地等があり、長竹川には取水堰が設置されている</p> <p>⇒建設予定地に決定した場合は、北東に隣接する流域も含めて下流域の井戸の有無等の水源に関して実態調査を行い、水質の観測計画を策定する必要がある</p>



○調査結果の検討

●須崎市神田 ●香南市香我美町上分 ●佐川町加茂

- ・ 最終候補地を中心とした流域から周辺流域への地下水の大きな流れは確認されず、最終候補地を中心とした流域の地下水は流域内の下流方向に向けて流れているものと推測され、特段の課題は見受けられない
- ・ 処分場は下記のような、処理水が外部に漏れ出ない万全の対策を取る

- ① 水を外部へ放流しない方式の採用（最終処分場内に散水し廃棄物に触れた水は、浄化処理後、循環して散水に再利用）
- ② 国の基準（2重の遮水構造）を超える水を遮る構造の採用（エコサイクルセンターにおいては、施設の底については、2重の遮水シートに加え、その下の層にはベントナイトと呼ばれる粘土と土を混合した厚さ50cmの層を設置）
- ③ 南海トラフ地震で想定されている最大震度※を超える地震にも耐えられる施設構造の採用

※最終候補地3カ所の想定最大震度

（最新の科学的知見に基づき、発生しうる最大クラスの地震により推計したもので、その発生頻度は極めて低いもの）

須崎市神田：震度6弱、香南市香我美町上分：震度6強、佐川町加茂：震度6弱

(4) 候補地周辺調査結果と進入道路の整備計画案

【①既存道路を利用する進入道路整備案】

○調査結果の概要 その1

調査項目	須崎市神田	香南市香我美町上分	佐川町加茂
現地周辺の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・拡幅予定の県道沿いには、国道56号交差点から約880mにわたり両側に農業用ハウスや田畑があり、その区間から東側では家屋が沿道に点在している ・県道は、近隣の学校等への通学路等として利用されている ・県道の昼間12時間交通量:自動車754台 ・県道の平均幅員:5.0m程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・拡幅予定の県道沿いには、家屋や倉庫、防火水槽が存在している ・県道は、近隣の学校等への通学路等として利用されている ・県道の昼間12時間交通量:自動車156台 ・県道の平均幅員:3.0m程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・町道区間には住家は1軒であり、付近の道路幅員は5.5m程度と広い ・現道の鉱山専用道路の利用は現在ほとんどない ・町道の昼間12時間交通量:自動車44台 ・現道の平均幅員:4.0m程度
整備概要	<ul style="list-style-type: none"> ・整備総延長:L=2.15km (県道拡幅:L=1.55km 進入道路新設:L=0.6km) ・概算工事費用:約6.2億円 ・想定工事期間:約1年2ヶ月 ・想定補償物件:農業用ハウス等9件 ・沿道の住家数:6軒 農業用ハウス:約20棟 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備総延長:L=0.90km (県道拡幅:L=0.5km 進入道路新設:L=0.4km) ・概算工事費用:約2.7億円 ・想定工事期間:約10ヶ月 ・想定補償物件:家屋1棟 倉庫3棟 ・沿道の住家数:6軒 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備総延長:L=2.41km (町道、鉱山専用道路拡幅:L=2.41km) ・概算工事費用:約10.1億円 ・想定工事期間:約1年6ヶ月 ・想定補償物件:なし ・沿道の住家数:1軒

(本表はその2に続く)

○調査結果の概要 その2

調査項目	須崎市神田	香南市香我美町上分	佐川町加茂
交通の安全 への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・県道は、近隣の学校等への通学路等として利用されている <p>⇒<u>交通事故の発生等の交通安全上の心配がある</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県道は、近隣の学校等への通学路等として利用されている <p>⇒<u>交通事故の発生等の交通安全上の心配がある</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町道区間を利用する住家は1軒であるが、通学路等に利用されているかどうかは不明である <p>⇒<u>町道区間が通学等に利用される場合、交通事故の発生等の交通安全上の心配がある</u></p>
粉じん・騒音 等の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・県道沿いには農業用ハウスや家屋が点在している <p>⇒<u>拡幅工事や車両の通行により粉じん、騒音等の影響を与える恐れがある</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設園芸地帯であり、昼間、農業者の車両が道路脇に駐車されている <p>⇒<u>大型車両の通行に伴い、駐車ができなくなり、農作業に影響を及ぼす</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県道沿いには家屋、倉庫等が点在している <p>⇒<u>拡幅工事や車両の通行により粉じん、騒音等の影響を与える恐れがある</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国道交差点から町道を約100m進んだ地点に住家が1軒ある <p>⇒<u>拡幅工事や車両の通行により粉じん、騒音等の影響を与える恐れがある</u></p>
支障移転に 伴う影響	<ul style="list-style-type: none"> ・施設園芸地帯の農業用ハウスの移転や補償が必要となる <p>⇒<u>農業者に影響を及ぼす恐れがある</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋1棟の移転や補償が必要となる <p>⇒<u>居住者の生活に影響を及ぼす恐れがある</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・補償物件はない <p>⇒<u>住民生活に影響を及ぼす恐れはない</u></p>



○調査結果の検討

●須崎市神田

- ・ 県道沿いの住家や農業用ハウス等に対して、工事用車両などの通行により粉じんや騒音等の影響を及ぼす恐れがある
- ・ 県道は通学路として利用されていることから、交通事故の発生など交通安全上の心配がある
- ・ 県道沿いで農作業をされている方々の車が工事用車両や廃棄物運搬車両の通行により駐車できなくなり、農作業の利便性が損なわれる
- ・ 県道を拡幅することに伴い農業用ハウス等の移転や補償が必要となり、農業者に影響を及ぼす恐れがある

●香南市香我美町上分

- ・ 県道沿いの住家等に対して、工事用車両などの通行により粉じんや騒音等の影響を及ぼす恐れがある
- ・ 県道は通学路として利用されていることから、交通事故の発生など交通安全上の心配がある
- ・ 県道を拡幅することに伴い住家等の移転や補償が必要となり、住民に影響を及ぼす恐れがある

●佐川町加茂

- ・ 町道沿いの住家に対して、工事用車両などの通行により粉じんや騒音等の影響を及ぼす恐れがある
- ・ 町道が通学路として利用されている場合、交通事故の発生など交通安全上の心配がある

⇒ **既存道路を利用する進入道路整備案は、3カ所とも住民の皆様の生活に少なからず影響を及ぼす恐れがある**

最終候補地の絞り込みについて(12)

【② 進入道路を新設する進入道路整備案】

○調査結果の概要

調査項目	須崎市神田	香南市香我美町上分	佐川町加茂
整備概要	<ul style="list-style-type: none"> 整備総延長：L=2.16km (県道拡幅：L=0.16km 進入道路新設：L=2.0km) 概算工事費用：約7.1億円 想定工事期間：約1年3ヶ月 想定補償物件：農業用ハウス等11件 井戸1カ所 沿道の住家数：0軒、農業用ハウス：約8棟 	<ul style="list-style-type: none"> 整備総延長：L=0.89km (進入道路新設：L=0.89km) 概算工事費用：約11.5億円 想定工事期間：約1年8ヶ月 想定補償物件：なし 沿道の住家数：0軒 	<ul style="list-style-type: none"> 整備総延長：L=2.04km (進入道路新設：L=2.04km) 概算工事費用：約7.3億円 想定工事期間：約1年3ヶ月 想定補償物件：なし 沿道の住家数：0軒
交通の安全への影響	<ul style="list-style-type: none"> 県道拡幅区間については、近隣の学校等への通学路等として利用されている ⇒<u>交通事故の発生等の交通安全上の心配がある</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 家屋等を避けてトンネルを抜くルート案であるものの、工事中において住家が近接している県道と農免道路との三差路付近を工事用車両等が通行する ⇒<u>工事期間中のみ、交通事故の発生等の交通安全上の心配がある</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 住家等を避けたルート案である ⇒<u>交通安全上の心配は小さい</u>
粉じん・騒音等の影響	<ul style="list-style-type: none"> 新設道路沿いには農業用ハウス等が点在する ⇒<u>新設工事や車両の通行により粉じん等の影響を与える恐れがある</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 家屋等を避けてトンネルを抜くルート案であるが、工事中において住家が近接している県道と農免道路との三差路付近を工事用車両等が通行する ⇒<u>工事期間中のみ、工事用車両等の通行により粉じん等の影響を与える恐れがある</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 住家等を避けたルート案である ⇒<u>新設工事や車両の通行により粉じん等の影響を与える恐れは小さい</u>
支障移転に伴う影響	<ul style="list-style-type: none"> 施設園芸地帯の農業用ハウスの移転や補償が必要となる ⇒<u>農業者に影響を及ぼす恐れがある</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 補償物件はない ⇒<u>住民生活に影響を及ぼす恐れはない</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 補償物件はない ⇒<u>住民生活に影響を及ぼす恐れはない</u>



○調査結果の検討

●須崎市神田（一部既存道路を拡幅する区間あり）

- ・ 新設する道路沿いに存在する農業用ハウスに対して、工事用車両などの通行により粉じんや騒音等の影響を及ぼす恐れがある
- ・ 農業用ハウス等の移転や補償が必要となり、農業者に影響を及ぼす恐れがある
- ・ 県道を拡幅する区間は通学路として利用されていることから、交通事故の発生など交通安全上の心配がある

●香南市香我美町上分

- ・ トンネルを整備し、家屋等を避けるルート案であるものの、トンネル入口付近にある住家に対して、工事用車両などの通行により粉じんや騒音等の影響を及ぼす恐れがある

●佐川町加茂

- ・ 沿道に住家などのないルートとなるため、粉じんや騒音等の影響は小さい

⇒ 進入道路を新設する進入道路整備案は、3カ所とも既存道路を利用する案よりも住民の皆様への影響は小さい
そのうち、沿道に住家などのない、佐川町加茂が最も影響が小さいと考えられる

(5) 南海トラフ地震による津波の影響の評価

○考え方

- 南海トラフ地震発生時において、施設は想定されている最大震度を超える地震にも耐えられる万全なものを作ることにしているが、施設の状態について早急に点検を行うためには、高知市中心部から施設までの通行ルートが確保できる必要がある

○津波の影響の概要

項目	須崎市神田	香南市香我美町上分	佐川町加茂
経路上の長期浸水エリアの状況	・高知市中心部から施設までの経路上、須崎東ICから候補地までの一部区間（国道56号、県道314号）に長期浸水エリア（桜川から西側の区域）がある	・高知市中心部から施設までの経路上の一部区間に長期浸水エリア（高知市東部（江ノ口・下知、高須））がある	・高知市中心部から施設までの経路上、長期浸水エリアはない

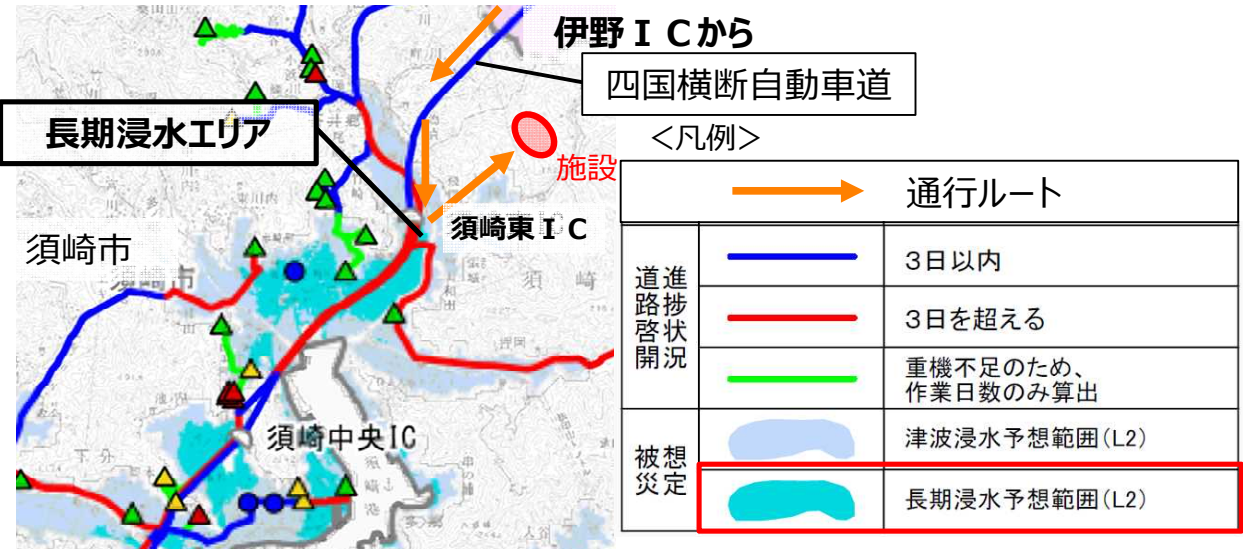
※長期浸水：地震の発生に伴い地盤が変動し、土地が海面より低くなることによって浸水が継続すること

○津波の影響の評価

●須崎市神田

（高知市中心部から施設までの距離：34.0km）

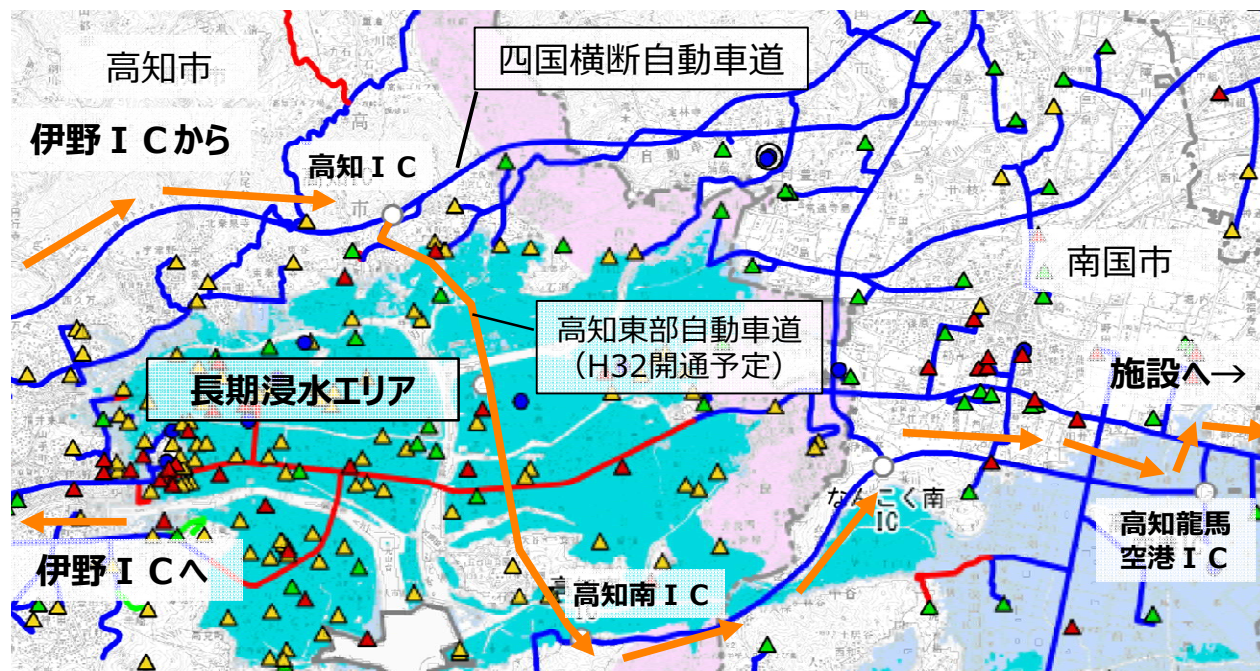
- ・伊野ICから四国横断自動車道を利用し、須崎東ICまでは通行可能と考えられる
- ・しかし、須崎東ICから施設までの間には長期浸水エリアがあり、浸水の解消に日数を要することから、しばらくの間、施設へのアクセスは不可能と考えられる



最終候補地の絞り込みについて(15)

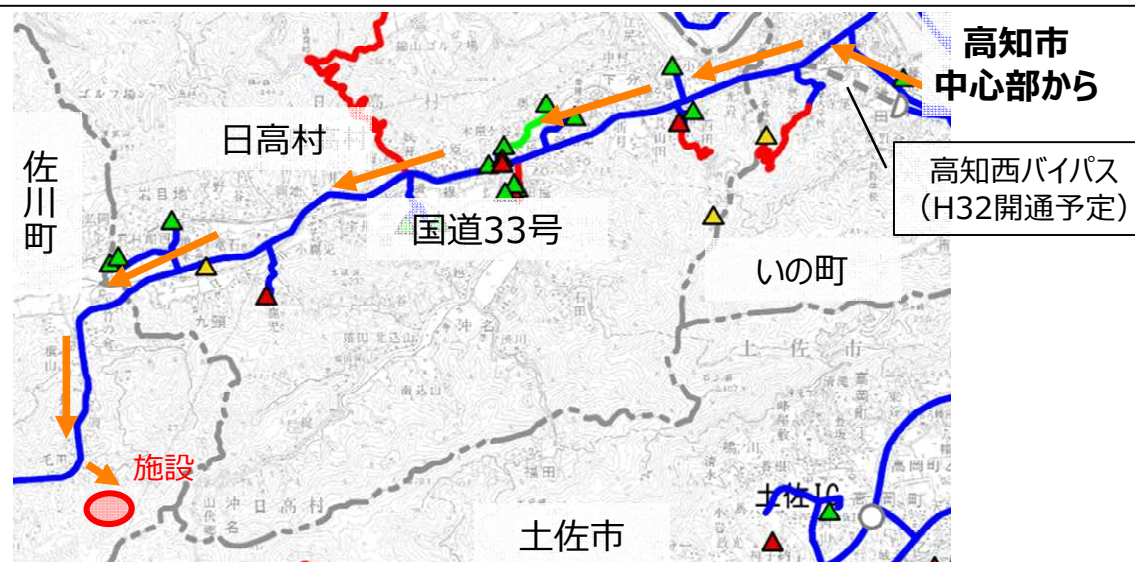
● 香南市香我美町上分 (高知市中心部から施設までの距離 迂回後：43.7km 迂回なし：25.2km)

- 高知市東部 (江ノ口・下知、高須) の **長期浸水エリア** を避けるため、**伊野ICから四国横断自動車道** を利用し、**高知ICへ迂回する必要がある**
- 高知ICからは、平成32年度開通予定の高知ICから高知南ICの区間を經由し、高知東部自動車道 (高知南ICから高知龍馬空港IC)、国道、県道等を利用し、施設まで通行可能と考えられる



● 佐川町加茂 (高知市中心部から施設までの距離：22.8km)

- 高知市中心部から施設までの経路上、長期浸水エリアはなく、**国道33号により県内陸部を通行し、施設まで通行可能**と考えられる



※ 3地区別の図は、高知県道路啓開計画Ver. 2 (L2想定) 土木事務所別道路啓開進捗図を加工

3 候補地の絞り込み

- 総合的に勘案すると、佐川町加茂において進入道路を新設する案が、住民生活への影響が最も少なく、科学的かつ合理的な視点からも、住民の皆様の不安の声に鑑みても最も有力と考えられる
- 県議会12月定例会において、絞り込みの時期や考え方について、より丁寧に説明し、議員の皆様のご意見を踏まえて、県として、1カ所に絞り込みを行うこととした

4 県議会12月定例会での議論

- 一般質問において、絞り込みのタイミング、住民生活への影響の把握、地元の受け止めへの認識、今後の進め方についての質問が出された
- 商工農林水産委員会において、委員からは絞り込みの時期や考え方、佐川町加茂において進入道路を新設する案を最も有力とすることについて評価をいただいたほか、住民の皆様に分かりやすい説明をしてほしい、他の2カ所の住民の皆様にもしっかりと対応してほしい旨の意見をいただいたものの、異論の声は無かった
- 以上のように、県議会の皆様にも絞り込みの時期や考え方について一定のご理解を示していただけました

5 最終処分場の整備に最も適した箇所の決定

- 県としては、県議会の意見も踏まえ、佐川町加茂（進入道路を新設）を施設整備に最も適した箇所として、絞り込みをさせていただいた
- その後、12月21日に佐川町長に施設整備の受入について要請させていただいた

6 今後の取り組み

- 佐川町や自治会の皆様のご協力を賜りながら、より多くの住民の皆様のお声を改めてお聞かせいただく話し合いの場を設け、住民の皆様からのご不安の声などを詳しくお聞かせいただき、それらの不安を一つひとつ解消できるよう、個別、具体的な対応を含めて、しっかりとお答えさせていただくことにより、施設の整備について、より多くの皆様にご理解を深めていただけるよう、一段と丁寧に取り組めます

参考資料

- 1 最終候補地選定以降（H30年2月1日～）のこれまでの取り組み
 - （1）地域住民への説明会等の開催状況
 - （2）3市町の首長への説明の状況
 - （3）3市町の議会への説明の状況
 - （4）その他の取り組み状況

1 最終候補地選定以降（H30年2月1日～）のこれまでの取り組み

(1) 地域住民への説明会等の開催状況

	須崎市神田地区 (対象世帯：約200世帯)	香南市香我美町山南地区 (対象世帯：約550世帯)	佐川町加茂地区 (対象世帯：約330世帯)
1回目 住民説明会 (最終候補地の選定過程及び施設の必要性や安全性について説明)	<ul style="list-style-type: none"> ●日時：3月7日(水) ①15:30～18:00 ②19:00～21:10 ●場所：須崎市神田公民館 ●出席者数：合計96名 (①56名、②40名) 	<ul style="list-style-type: none"> ●日時：2月26日(月) 19:00～21:20 ●場所：香南市香我美町 山南防災コミュニティセンター ●出席者数：61名 	<ul style="list-style-type: none"> ●日時：4月1日(日) 10:10～12:30 ●場所：佐川町総合文化センター ●出席者数：97名
エコサイクルセンター見学会 (実際に施設を見ていただくとともに、必要性や安全性について説明)	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 ①7月20日(金) 14:00～15:30 ②7月22日(日) 14:10～15:20 ●出席者数：合計6名 (①3名、②3名) 	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 ①7月26日(木) 14:00～15:40 ②8月12日(日) 14:00～15:30 ●出席者数：合計10名 (①6名、②4名) 	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 ①4月15日(日) 14:00～16:10 ②4月19日(木) 14:00～15:40 ●出席者数：合計42名 (①30名、②12名)
2回目 住民説明会 (現地調査の結果について説明)	<ul style="list-style-type: none"> ●日時：9月14日(金) 19:00～21:00 ●場所：須崎市神田公民館 ●出席者数：23名 	<ul style="list-style-type: none"> ●日時：9月10日(月) 19:00～20:35 ●場所：香南市香我美町 山南防災コミュニティセンター ●出席者数：18名 	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 ①9月12日(水) 18:30～20:15 ②9月13日(木) 18:30～20:00 ③9月18日(火) 18:30～20:00 ④9月19日(水) 18:30～20:30 ●場所 ①長竹公民館、②横山公民館、 ③竹ノ倉公民館 ④集落活動センター「加茂の里」 ●出席者数：合計80名 ①23名(対象世帯:約50世帯) ②15名(対象世帯:約15世帯) ③10名(対象世帯:約40世帯) ④32名(対象世帯:約230世帯)

(2) 3市町の首長への説明の状況

	須崎市	香南市	佐川町
最終候補地の選定過程及び施設の必要性や安全性について説明	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 2月7日(水) 13:00~14:00 ●相手方: 市長、副市長 等 	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 2月7日(水) 10:00~11:30 ●相手方: 市長、副市長 等 	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 2月7日(水) 15:00~16:00 ●相手方 町長、総務課長、町民課長 等
現地調査結果について説明	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 8月29日(水) 16:00~16:40 ●相手方 市長、副市長、環境保全課長 	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 8月30日(木) 8:30~9:15 ●相手方 市長、副市長、環境対策課長 	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 8月30日(木) 11:00~11:45 ●相手方 町長、副町長、町民課長

(3) 3市町の議会への説明の状況

	須崎市	香南市	佐川町
最終候補地の選定過程及び施設の必要性や安全性について説明	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 3月7日(水) 13:00~14:15 ●出席議員数: 16名(全員出席) 	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 2月22日(木) 13:30~15:10 ●出席議員数: 17名 (18名中※欠員1) 	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 2月19日(月) 10:35~12:15 ●出席議員数: 14名(全員出席)
エコサイクルセンター見学会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 5月21日(月) 14:00~15:40 ●出席議員数: 9名(16名中) 	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 7月13日(金) 14:00~16:00 ●出席議員数: 12名(19名中) 	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 3月8日(木) 13:35~15:10 ●出席議員数: 13名(14名中)
現地調査結果について説明	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 9月5日(水) 11:40~12:20 ●出席議員数: 16名(全員出席) 	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 9月3日(月) 11:00~12:00 ●出席議員数: 19名(全員出席) 	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 9月7日(金) 13:30~14:50 ●出席議員数: 14名(全員出席)

参考資料(3)

環境対策課

(4) その他の取り組み状況

	須崎市神田地区	香南市香我美町山南地区	佐川町加茂地区
最終候補地の詳細位置図及び 1回目の住民説明会資料の配付	住民説明会での住民の方からのご意見を踏まえ、最終候補地の詳細な位置図を作成し、説明会にご参加いただけていない方々にも、ご理解を深めていただけるよう、説明会資料とともに、それぞれの地区の各戸に配付		
	● 配布依頼日：7月3日（火）	● 配布依頼日：7月6日（金）	● 配布依頼日：4月5日（木）
記述式アンケートの配布（1回目）	説明会にご参加いただけていない方のご意見も伺うため、記述式アンケートをそれぞれの地区の各戸に配布		
	● 配付依頼日：7月3日（火） ● アンケート回収状況：6通	● 配付依頼日：7月6日（金） ● アンケート回収状況：17通	● 配付依頼日：7月27日（金） ● アンケート回収状況：11通
「質疑応答集」の配布（1回目）	説明会にご参加いただけていない方も含めて、ご理解を深めていただけるよう、説明会や見学会で出されたご意見やご質問に対する県の考えをまとめた質疑応答集（Q&A）をそれぞれの地区の各戸に配布		
	● 配布依頼日：8月24日（金）	● 配布依頼日：7月26日（木）	● 配布依頼日：7月27日（金）
2回目の住民説明会資料及び 記述式アンケートの配布（2回目）	現地調査結果の説明会にご参加いただけていない方々にも、ご理解を深めていただけるよう、説明会に用いた資料をそれぞれの地区の各戸に配付するとともに、現地調査結果説明会後の再度のご意見を伺うためにアンケート用紙も配付		
	● 配付依頼日：9月28日（金） ● アンケート回収状況：4通	● 配付依頼日：9月25日（火） ● アンケート回収状況：13通	● 配付依頼日：9月26日（水） ● アンケート回収状況：11通
「質疑応答集」の配布（2回目）	現地調査結果の説明会において出されたご意見・ご質問及びアンケートによって寄せられたご意見・ご質問に対する県の考えを整理した質疑応答集（Q&A）を作成し、それぞれの地区の各戸に配付		
	● 配布依頼日：10月31日（水）	● 配布依頼日：10月29日（月）	● 配布依頼日：10月29日（月）

今回の絞り込みの考え方など新たな管理型最終処分場の整備に関して、皆様の、ご意見、ご質問をお聞かせください

お問い合わせ先

高知県 林業振興・環境部 環境対策課

電話：088-821-4595

メール：030801@ken.pref.kochi.lg.jp

〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番52号
(県庁の西庁舎5階です)

佐川町役場 町民課

電話：0889-22-7706

〒789-1292 高岡郡佐川町甲1650-2